

平成 29 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

針葉樹樹皮を活用した果樹等の試験栽培 (H25)

埼玉木材チップ協同組合



事業の目的・内容

ブルーベリー農家での針葉樹樹皮の利用を拡大するため、針葉樹バークチップを培地とした新たな栽培方法の実証実験と、他の果樹等でのマルチング利用の試験をおこない、針葉樹樹皮の利用拡大を目指すとともに、地域振興を図る。



今までの活動状況

試験地① ブルーベリー栽培における針葉樹樹皮の培地利用試験（経過観察）
生長は良好であり、実が大量に収穫できた。

試験地② ブルーベリー栽培における針葉樹樹皮の培地利用試験（経過観察）
生長は良好であり、実が大量に収穫できた。

試験地③ クリ栽培における樹皮のマルチング利用試験（経過観察）
イノシシの被害が続いているが成長はしている。

ブルーベリー栽培に針葉樹樹皮が適しているということで、埼玉県内のブルーベリー農家さん、個人でブルーベリーを育てている方々にかなりの量の針葉樹樹皮を使用していただいています。



これからの活動・行事

試験地も時間が経つにつれスギナ等の植物が発生してきているため、前回と同じように、バークチップの補充を行う。

農家さん、個人で育てている方々から、針葉樹樹皮についての問い合わせが多く、充分提供できるよう準備していきたい。